

## 2 - 5 福島県東部におけるラドン観測 (XVII)

### Radon Observation in the Eastern Part of Fukushima Prefecture (XVII)

東京大学大学院理学系研究科

Graduate School of Science, The University of Tokyo

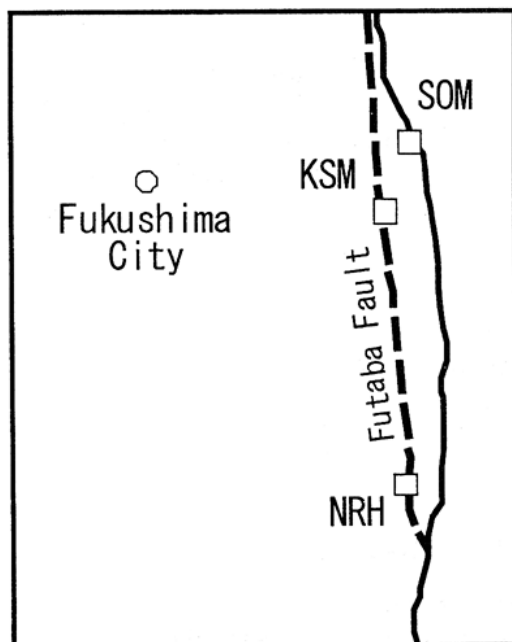
前報<sup>1)</sup> に引き続き、福島県東部における地下水のラドン濃度の連続観測結果(1998年11月～2000年5月)を報告する。

観測点は、第1図に示す相馬(SOM)、鹿島(KSM)、楢葉(NRH)の3地点である。第2図は、SOM、NRHにおける、1時間毎のラドン濃度(積算値)の24点移動平均の変動で、縦軸はこの期間の変動を表している。また、各図の右上には、1996年以降のラドン濃度の観測値を示してある。

SOMでは例年どおりラドン濃度はきわめて一定である。また、NRHのラドン濃度には、夏高く冬低い年周変化が見られる。

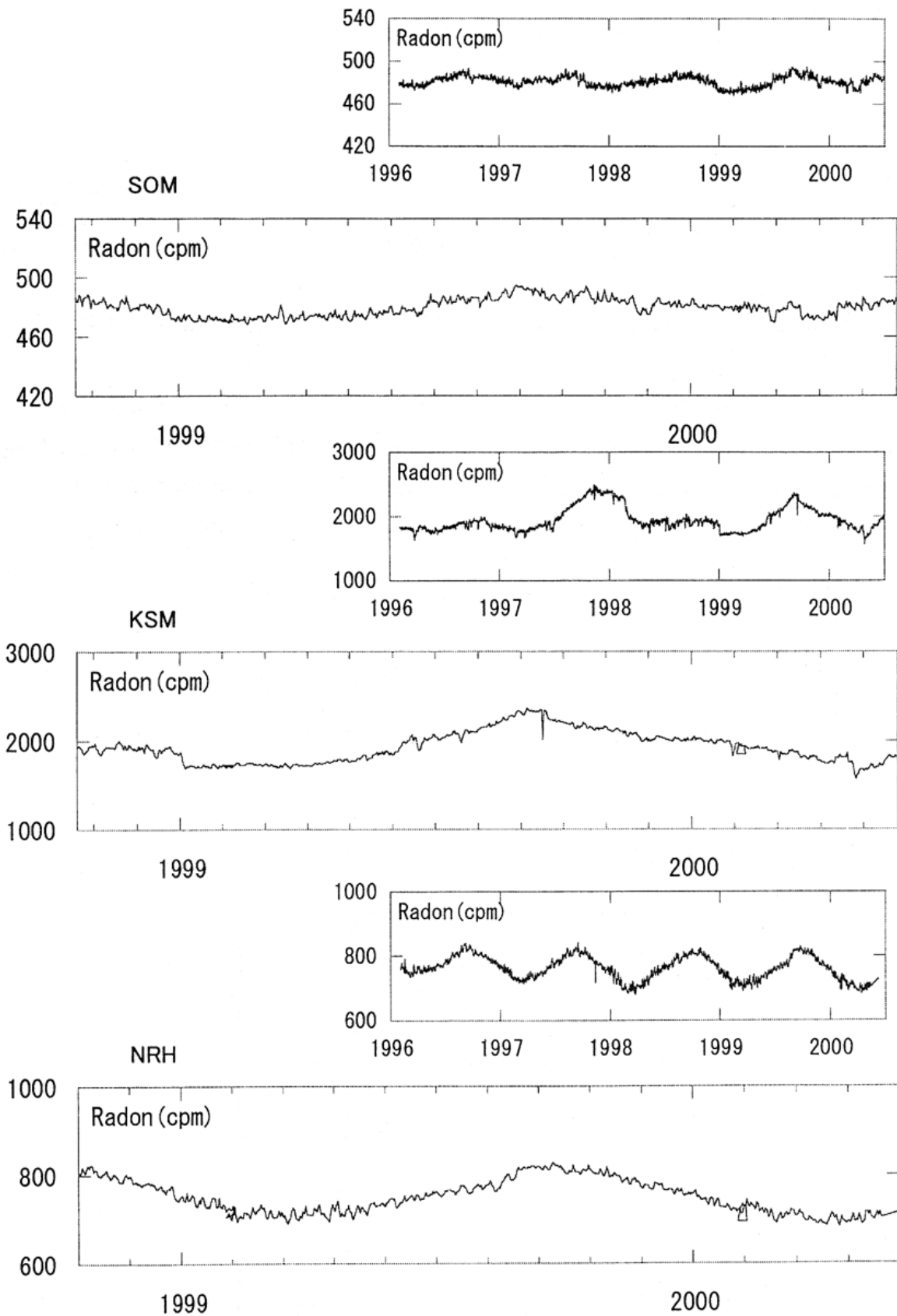
#### 参 考 文 献

- 1) 東京大学大学院理学系研究科：福島県東部におけるラドン観測(XVI), 連絡会報, 61(1999), 128-130.



第1図 福島県東部の地球化学観測点の位置

Fig1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima Prefecture.



第 2 図 SOM (相馬) KSM (鹿島) NRH (榎葉) における地下水のラドン濃度変化

Fig.2 Temporal variations in the radon concentration in ground water at SOM(Soma), KSM(Kashima), and NRH(Naraha). The data are 24-hour moving average values.